

群馬県議会議員
栗野あわの
よしあき

活動報告

市民・県民の役に立つ

一人一人の声を県政に生かしていく

令和5年の群馬県議会議員選挙にて初当選をさせていただき、まもなく2年、任期の折り返しを迎えます。県議会では、新たに会派を設立し、会派で要望活動等を行ってまいりました。また昨年の11月に行われた定例会では2回目の一般質問を行いました。裏面ではそちらを中心に皆様にお伝えいたします。今後も県議で唯一の元市町村職員という特性を生かし励んでいきたいと思ひます。

新会派「つる舞う」設立



昨年、政党無所属の県議会議員の仲間5人で新たな県議会会派「つる舞う」を設立しました。今後も無所属として、しがらみのないフラットな立場で様々な意見を聞き、県政に生かしてまいります。「つる舞う」は、ご存じ「上毛かるた」で最も有名な群馬県を象徴する札「つる舞う形の 群馬県」から取り、県下一丸となって誇れる郷土群馬を築いていく意味を込めました。写真で掲げる「つる舞う」は、安中市原市の書家「上原修陽」先生（安中文化協会会長、妙墨会会長ほか多数）が揮毫してくださいました。

栗野よしあき
プロフィール

40年の行政経験を県政に生かす

安中市役所職員を37年間、安中市副市長を4年間務め、市の発展・住民福祉の向上の仕事を行ってきました。

この間、多くの県職員の方々とも関りをもってまいりました。

この経験は大変貴重でかけがえのないものであり、市・県の特色や地域の課題も理解しています。この経験を是非とも県政に生かしてまいります。

略歴

昭和33年5月11日生まれ

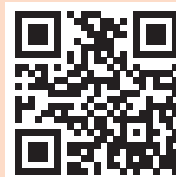
安中市立原市小・同第二中・新島学園高校・明治大学文学部卒業。

安中市役所入職後、市民部安全安心課長、財務部収納課長、総務部長を経て、安中市副市長を務める。

令和5年群馬県議会議員初当選。（当選1期）

公式サイトを開設しました！

皆さまのお声をお寄せください。



<http://www.awano-yoshiaki.jp/>

連絡先

TEL：027-385-1120
090-2629-0077

E-mail：
info@awano-yoshiaki.jp

新年度予算へ向け 会派で要望

山本知事に対し、新年度予算編成へ向け会派「つる舞う」で政策提案書を提出し、副知事、県幹部職員と意見交換を行いました。提案は、医療・福祉、教育、中小企業支援、交通、環境・農業など5分野30項目の具体的重点的構成としました。

これに対して後日知事から直接回答があり、7項目について新規・拡大実施の説明がありました。特に私が取り上げた中で「スクールソーシャルワーカー」については増員し、新たに「スクールロイヤー」を設置するというものでした。今後も、真に求められる施策の実現を目指していきます。



5分野30項目の要望提出のうち、7項目について新規・拡大実施が決定

全国最速 「カスタマーハラスメント防止条例」施行

県議会で全会一致で可決され、「群馬県カスタマーハラスメント防止条例」が4月1日に施行されました。東京都・北海道と同日の全国最速での施行となります。

条例にはカスタマーハラスメント防止に関する事業者・就業者や顧客の責務などが定められています。また、「群馬県庁におけるカスハラ防止の基本方針」も同日に施行されました。これによりカスタマーハラスメントのない群馬県を進めることになります。



厚労省HPではカスハラ対策マニュアルやポスターが配布されています ▲

令和6年11月
第3回定例会

群馬県議会一般質問 ダイジェスト

壇上に立つ栗野よしあき ▲

幸せを実感できる包摂社会の実現

栗野 県では包摂社会の実現に関する事業を実施しているが、その状況は。また今後どのように取り組んでいくのか。

福祉局長 包摂社会は、家族関係や地域コミュニティが希薄化する中、一人ひとりが生きがいや役割を持って共生・共助の社会をつくっていくという考え方である。現在この包摂社会を理念とする地域づくりとして、関係機関が連携して対応する体制の構築や住民主体で解決を試みる仕組みづくりなどの各分野における取組が進んでいる。新型コロナの影響により顕在化してきた孤独・孤立の問題については、市町村、社会福祉協議会、NPOや民生委員など多様な主体の参加の下、分野や種別の枠を超えて連携するプラットフォームを立ち上げた。新たに相談機関向けの研修会の開催や、孤独・孤立に悩む人を支援するつながりサポーターの養成など、人材育成にも取り組む予定。群馬県として、幸せを実感できる包摂社会の実現に向け、様々な施策をしっかりと取り組んでいく。

生活保護事務監査の総括と今後の取り組み

栗野 県では、県内各福祉事務所で行われている生活保護の事務に対し監査を行っているが桐生市に対する特別監査等を踏まえてどう総括しているか。また、県内の生活保護行政が適切に行われるため今後どのように行っていくのか。

福祉局長 桐生市で不適切な対応が疑われる事案が発生したことを受け特別監査を実施し、定期監査には課題があることが分かった。国が定めた幅広い項目を確認するため、検査できる件数に限りがあり、慣例化されているところは指摘ができていなかった。また定期監査での指摘事項に対しては、是正や改善の確認が不十分であった。監査の実施方法の見直しを始めており、県民の生活を守る最後のとりでとして指導を徹底していく。

西部児童相談所の今後の運営について

栗野 高崎市が中核市として児童相談所の設置を進めている。現在の高崎市内にある西部児童相談所は今後どのように運営していくのか。

生活子ども部長 高崎市では、来年秋頃の児童相談所の開設を目指し工事を行っている。このため高崎市にある西部相談事務所を高崎市以外に移転する検討を進め、富岡合同庁舎内への令和8年1月の移転を予定し準備を進めている。居住地によらず、子どもや保護者が適切な相談・援助を受けられる体制を整備してまいりたい。

栗野 富岡合同庁舎内となると子どもを連れての来所がかなり大変な方もいる。対象者のお宅や、区域内の県や市町村の公共施設を利用するなど、来所者に配慮して対応していくのはどうか。

生活子ども部長 利用者の個々の状況をしっかりと踏まえて、市町村と連携し、巡回相談を充実させるなど、遠方に居住する方や交通弱者への配慮を行ってまいりたい。庁舎内の面接室や待合室を利用しやすいように整備して行きたい。

教員の人材確保について

栗野 教員の多忙化解消、働き方改革について、定めた提言を示し改善策に取り組んでいると聞いているが、現状の取り組みはどうか。

教育長 教員の多忙による若い人の教職敬遠が全国的な課題である。教員不足と多忙化は負のスパイラルになっていて、多忙化の解消は教員不足の解消に必須である。毎年提言を示し多忙化解消を慎重に進めていて、時間外の縮小など成果が出てきている。教員の業務や学校行事は、子どもの成長のため無駄なものはない。働き方改革が子どもの豊かな学びの実現につながることを伝えながら、今後も関係団体等と連携し進めていく。

令和6年11月の定例会では幅広いトピックについて一般質問を行いました。その中から主なものを抜粋・要約してご報告いたします。「誰一人取り残されない」社会の実現のために今年度も活動をしてまいります。

しらがね学園入所児童の移行支援

栗野 卒園の該当年齢がある、しらがね学園退園後の円滑な成人施設への移行等について、在園中の取組を伺いたい。

教育長 改正児童福祉法の施行により、必要な場合には22歳満了時まで入所を継続できる枠組みが構築されている。しらがね学園では、高校生以上の入所児童は個々の障害特性に合わせ移行支援計画を作成している。強度行動障害のある児童は個別のケース会議の開催や成人施設への体験入所を重ね移行に向けた支援を丁寧に進めている。

部活動の地域移行に伴う保護者負担問題

栗野 学校部活動の地域連携と地域クラブ活動への移行に向けた推進計画が昨年策定され、会費と保護者の負担の軽減が掲げられていると認識している。部活動の地域移行による課題の1つに保護者の負担の増加があると思うがどのように考えているか。

教育長 地域指導者への謝金、保険加入料、活動場所への移動など、保護者負担への対策は市町村から課題として挙げられた。県教育委員会としては、関係部局や市町村と連携し、保護者負担の軽減等に向けた研究を進めてまいりたい。

栗野 部活動の費用について、公費で対応する部分を是非願います。

闇バイトに関連する対策状況

栗野 闇バイトに関連した犯罪について、現状県警が取り組んでいる対策を伺う。

警察本部長 県警における取組は、情報を掲載している者に対して個別に警告を実施しているほかに、SNSにこうした情報を求めて「闇バイト」等の語を用いて検索をする者に対しても、注意喚起のメッセージを表示させるという対策を行っている。犯罪実行者募集情報を有害情報として、インターネット・ホットラインセンターに通報する活動も行っている。県内の中・高校等で注意喚起の講演会を開催している。

金属盗対策に関する条例制定の進捗

栗野 太陽光発電施設を対象とした金属ケーブル盗難の現状と、金属盗対策に関する条例の制定の進捗状況を伺う。

警察本部長 被害状況は本年10月末現在の認知件数は1,069件、被害総額は約8億6,650万円である。今年に入って来日外国人12人を含む17人を検挙し、盗難被害品を買い取りした業者の経営者等も3人検挙した。必要な規制を行う条例は関連犯罪の防止に有効と考えているが、国の動向も配意し、条例案の上程に向け準備・調整を引き続き進めてまいりたい。

「ぐんま5つのゼロ宣言」について

栗野 カーボンニュートラルの実現、グリーンイノベーションの創出についてどのように取り組んでいるか。

グリーンイノベーション推進監 カーボンニュートラルの進捗では、再生可能エネルギー、蓄電池、太陽光発電設備の導入に取り組み、温室効果ガス排出量の削減目標に向け順調に推移している。グリーンイノベーションでは、サーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブ経済にも取り組む新たな戦略を策定中である。

西毛広域幹線道路の整備促進について

栗野 西毛広幹道の令和11年開通に向け、高崎安中工区、安中富岡工区の進捗状況はいかがか。

県土整備部長 2つの工区の工事は最盛期を迎えており、進捗をしっかりと図っていく。

一般質問の詳細は、群馬県ウェブサイト「群馬県議会会議録検索システム」や「インターネット中継」よりご覧いただけます。

群馬県議会
会議録検索



群馬県議会
インターネット
中継

